

災害情報の収集《例》（総務局総合防災部ホームページの活用）

災害発生後に多くの都立学校は避難所や一時滞在施設、災害時帰宅支援ステーションとなる。そこでの役割の一つに情報の提供が挙げられている。

従来、災害発生直後からの情報の入手先はテレビ、ラジオが主であったが、新たな情報の入出先として総務局総合防災部の「東京都防災ホームページ」を活用する。

東京都防災ホームページでは災害発生時東京都災害対策本部に集められた各種情報から必要な情報を選択した上、迅速な情報提供を行うために設けられている。また、このシステムはパソコン、携帯電話による利用が可能である。そのため、災害発生直後からパソコンからだけでなく携帯電話からもより確かな情報を入手することができる。東京都防災ホームページから得られた情報を避難所、一時滞在施設及び災害時帰宅支援ステーションでの情報提供に活用することで、更なる情報提供の強化を図ることができる。教育庁災害対策本部における携帯電話・固定電話等による情報提供にも活用していく。

この他、気象庁ホームページ（気象警報・注意報、地震情報、台風情報）、降雨情報（東京アメッシュ）、降水量・河川水位情報、土砂災害警戒情報のリンク先も掲示されているので、情報収集することが可能である。

総務局総合防災部「東京都防災ホームページ」のイメージ図

